

柳瀬川右岸第 8－1 排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画（清瀬市）

（様式 1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	柳瀬川右岸第 8－1 排水区は、近年の集中豪雨や台風により冠水被害が繰り返し発生しているところであり、都市機能に影響を来す被害が発生していることから、雨水幹線整備による早急な対策が急務である。
整備目標	①本計画における対象降雨 ・本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：50mm/hr ・目標とする理由：河川整備計画の対象降雨：50mm/hr ・ハード整備による整備水準の目標：50mm/hr（5 年確率降雨） ②目標設定 i) 生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者施設浸水を防止する。 ii) 都市機能の確保の観点：機能保全水深を 0cm と設定する。 iii) 個人財産の保護の観点：家屋の浸水を防止する。 iv) その他：特になし ③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について i) ハード対策 - 雨水幹線整備により 50mm/h（1/5 確率）の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。（清瀬市下水道課） ii) ソフト対策及び自助 - 内水ハザードマップ作成・公表（清瀬市防災防犯課） - 雨水浸透施設設置助成（清瀬市雨水浸透施設設置助成金交付要綱）

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	有 （令和 2 年 6 月 30 日策定済み）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・雨水管渠の整備 排除面積 114.79ha
			下水道管理者以外	・透水性舗装の整備（清瀬市道路交通課） 面積 92,791.75m ² （非透水性分を含む）

		ソフト 対策	下水道管理者 以外	・内水ハザードマップの作成・公表（清瀬市防災防犯課）
	自 助	ソフト 対策		・雨水浸透施設設置助成 （清瀬市雨水浸透施設設置助成金交付要綱）

(赤) 変更前

年度計画（百万円）

(黒) 変更後

名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8	計
雨水管渠	378.5 611.9	1,800.0 456.6	1,801.5 1,246.1	0 235.0	0 210.0	3,980.0 2,759.6
計	378.5 611.9	1,800.0 456.6	1,801.5 1,246.1	0 235.0	0 210.0	3,980.0 2,759.6

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	浸水被害の軽減便益：5,858 百万円が削減される。 B／C：1.6 都市浸水対策達成率 45%→100%

位置図 縮尺1:10,000

清瀬市

